

## 第 2 回大田区自転車等駐車対策協議会 議事録要旨

日 時：平成 21 年 10 月 22 日（木）午前 10 時から正午

会 場：大田区立消費者生活センター 2 階 講座室

出席者：屋井会長、福田副会長、樋口副会長、小林委員、坂本委員、島村委員、小野澤委員、酒井委員、根津委員、岩佐委員、五十嵐委員、飯田委員、松原委員、遠藤委員、宮澤委員、藤田委員、関委員、中村委員、秋山委員

都市基盤整備 部長 これより平成 21 年第 2 回大田区自転車等駐車対策協議会を開催いたします。

このほど委員の変更がございましたのでご報告いたします。京浜急行電鉄株式会社鉄道本部計画営業部計画課長島村昭一委員です。

委員 京浜急行電鉄計画営業部計画課の島村でございます。6 月から計画課に異動してまいりました。よろしくお願いたします。

都市基盤整備 部長 委嘱状は委員の机上にございますのでご確認をお願いいたします。

### 【配布資料の確認】

都市基盤整備 部長 それでは議事に移りたいと思います。会長お願いいたします。

会長 本日は資料に基づきまして今回から本格的な議論が開始されることとなりますので、ぜひ活発なご議論をよろしくお願いいたします。

それでは、最初は「駅周辺自転車利用実態調査結果」からです。

平成 19 年度に蒲田駅・大森駅・雪が谷大塚駅の 3 駅を、平成 20 年度に京急蒲田駅・雑色駅・糎谷駅・大鳥居駅・久が原駅・御嶽山駅・平和島駅・西馬込駅の 8 駅の駅周辺自転車利用実態調査を行った報告です。事務局の杉村参事からよろしくお願いいたします。

事務局 【資料 1 説明】

会長 関連する次の説明と一緒に総合的に議論をいただきたいと思います。「蒲田地区における放置自転車対策の現状と課題について」、蒲田まちなみ維持課自転車対策担当の貝塚係長から説明していただきます。

事務局 【資料 2 説明】

会長 今ご説明をいただいた内容に関してのご議論をよろしくお願いいたします。駐輪問題、放置自転車等の課題がありました。いかがでしょうか。

ではまず、私のほうから確認をしたいと思います。

【資料 1】 12 ページの距離別自転車利用特性で、路線ごとに自転車利用者がどの距離帯から駅周辺に来ているかという資料です。例えば蒲田駅を見ますと、京急線の駅がいくつも周辺にあります。JR線と比べて範囲が短いこともあります。これは必ずしも特急等の止まる駅でなくても最寄り駅に自転車で行っていることを意味していると思います。

JRについては駅間が長いのでこの結果は理解できます。

うまく整備すれば、自転車の集中を分散させることも利用実態から見てもそれなりに可能性は残っている気がします。この図面をどう見たらいいのかを補足的に今の観点からご説明いただければと思います。

事務局

おっしゃるとおりだと思います。駅間がかなり短いところもありますので、自転車利用者は最寄り駅を利用していることもあります。しかし、特急等が止まる駅に引っ張られることもないわけではありません。

区の連続立体化事業で大森町、梅屋敷等の駅が京急蒲田と一緒に上になります。その部分は都市計画自転車駐車場を定めてあります。比較的小さい駅にも、駅が高架になる下には自転車駐車場を造ろうと、京急電鉄さんと協力して都市計画として定める方向で努力しています。

会長

他に何かございますか。

委員

先ほど、環八下の蒲田陸橋改修工事によって、2,000 台の自転車駐車場がなくなる話がありました。いい手立ではないでしょうか。2,000 台の収容台数が蒲田駅周辺からなくなることは喫緊の課題だと思います。

委員

環八の舗装改修工事に関しては、可能な範囲で代替地があればご協力したいと考えています。

事務局

現場レベルでは東京都第二建設事務所補修課長には、いっぺんではなく部分部分で工事をしていただきたいとお願いをして、ご協力はいただける感触は得ているところです。代替地についても、環八脇の地主さんに交渉をして良い感触を得ています。

会長

どうもありがとうございました。

委員

先ほど路上駐輪機の話がありました。興味のある話ですが、大田区ではできるような場所はどの辺が想定されますか。

事務局

車道では設置後に残りの幅員が 3.5m 必要ですし、緊急車両等の問題もあります。幅員にもよりますが、交通管理者との協議もあります。広い歩道には自転車レーンを造ってくださいというお話もあります。

「走る」と「止める」とをどう並立させるか非常に難しい問題もあります。大田区の道路は全面積の 11% ほど、780 km くらいの延長がありますが、幅員の狭い道が多く難しいところです。

会長

自転車レーンとは自転車専用通行帯と申しまして、原則車道に設置さ

れるものです。歩道上に造る場合は、自歩道（自転車歩行車道）といたします。当協議会では、歩行者の視点、また公共交通の視点にも配慮しながら自転車問題を取り上げていきたいと思っております。

委員

【資料 2】 36 ページに関連計画グランドデザインの策定があります。

最終的にグランドデザインでは、蒲田駅、大森駅の駅前広場を広くしていくことになるのではないかと考えています。それと並行して自転車対策を行うとのことですが、グランドデザイン策定の中に「駐輪場の整備」を入れないと、今駐輪場を造ってもそこで改修工事をするようになってしまいます。

グランドデザインが 21 年度の策定とはどの辺にまでできるのか。個々のヒアリングとか伺いましたが、蒲田・大森のグランドデザインに駐輪場の整備を入れるべきではないかと思っております。

事務局

ご指摘のようにグランドデザインの中にもきちんと自転車対策を盛り込んでいかなければならないと考えています。

当然放置自転車対策はグランドデザインと連携しながら、片方がやり始めたから、もう片方が変わるようなことは避けようとしています。

会長

機会を改めて、もう少しご紹介いただければと思います。

委員

区報で、秋のクリーンキャンペーンを目にしました。例えば事前に駅等にポスターを張って、いつからいつまで、何時からやりますよ、と区民に広く知らしめる活動を積極的にやっていただければと思います。

先日も池上駅前で、東京都自転車商防犯協力会と思いますが、自転車に関するキャンペーンを午後 1 時間ほどやっていました。そのように個々に団体がいろいろな活動していることと合わせて、行政等の団体が連携して実施することで線が点になって、より効果を生み出すと思っております。

事務局

ポスター等については、関係者にもお願いをして、ポスターを貼らせていただくなどそういった協力を相互にしていければと思います。

委員

駅構内に、今回のクリーンキャンペーンのポスターにつきましては各駅おそらく 1 箇所ではありますが、掲示をしてあると思っております。

各鉄道事業者とも実施されているかと思いますが、当社としては電車内で、車掌が「ただいまクリーンキャンペーン期間中です。放置自転車の防止にご協力ください」と、具体的には表現は違いますが、期間中に放送することを指導しています。

会長

努力してやっています。ただ、利用者あるいは区民の立場からするとなかなか浸透していないという話題が多いです。こういう機会にぜひ、新しいアイデア等をいただいて、大田区方式でもいいし、もっと浸透するような可能性があれば検討していきたいと思っております。

副会長

今日私も糞谷駅で地元の町会長としてティッシュ配り、またタスキを

掛けながらクリーンキャンペーンに参加してきました。お知らせは町会長会議で事前に説明を受け、他町会の会長と役員も参加をして自転車商組合や駅の方等を含めてご参加をいただきました。

ティッシュ配りで感じたのは、駅から出てくる方は他の駅からきてこの駅を利用して仕事等に行かれています。ティッシュは取っていただくのですが、別の駅で意識をしてくださることが大事と思いました。

配った駅から乗る方に対しては、急いで、あるいは時間を見て足早に改札口に向かっているのが、近所に自転車を置いてこられたかと思うのですが、そういった方にティッシュを受け取ってほしいと思いました。

糀谷駅は臨時自転車駐車場として歩道に相当数の面積を使って暫定実施していますが、止める方にも啓蒙をすれば良かったと思います。

事務局

啓蒙の件では、まだ一部ですが、大森では今日配ったティッシュの中に駐輪場の一覧表を入れました。裏に地図を入れて西口と東口の駐輪場が図で示してあります。駐輪場の情報を知らない方が多いので、ティッシュを家に持ち帰ったときに情報提供できるのではないかと考えます。

「当日の利用料金が 100 円です」とか「収容台数が何台」とあるとか、という情報です。駐輪場と駅の距離や時間等の細かい情報も入れたいと思います。

主婦の方は「1日当たり何円」という感覚がありますので、細かい情報も入れて何とか駐輪していただけるようにと思います。

会長

いただいた共通点としては、かなりの通勤客はきちんと駐輪するので駐輪場がいっぱいになって、昼間お買い物に来たお母さんたちは「止める場所がない」、あるいは「短時間駐輪だからちょっといいでしょ」と路上に止めてしまう。「ちょっと止めてもいいでしょ」というスペース、あるいは止めるスペースが既になくなっていく問題があります。

構造的な問題が買い物客と通勤客でもともと違うのです。だから、区としての基本方針が重要です。江戸川区のようなセットの仕方もあるかもしれないですが、大田区としてはどう考えていくのか。

駐輪するスペースがない中で、ティッシュ配りだけでは無理で、どのように対処していくのかが議論されなければならないと思います。そういう意味で非常にいいデータをご紹介いただいたと思います。

通勤客は鉄道会社さんも全国的にご検討いただいていると思いますけれども、今駐輪問題についていろいろ出てきました。この機会にご発言、いかがですか。

委員

私共でも駐輪場のない駅が資料の中にも出ているわけですが、今大田区とも話をしています。鉄道用地は線路脇になったりするわけですが、何台かずつでも整備できればと検討をしています。幅が取れない問題が

あったり、道路部分にはみ出したりしてしまうと他の交通の邪魔にもなります。鉄道のお客様で自転車を使われる方も多いですから、我々としてもきちっと対応していかなければならないと今日改めて思います。

会長  
委員

通勤客と買い物客、どちらも抱えておられる。

蒲田駅には西口のカラオケ店の横に以前は附置義務の駐輪場としてあったのですが、放置されっぱなしのすごい状況でした。それをコイン式の駐輪場に 100 台ほどに換えて、今はほとんどいっぱいになっています。蒲田駅ではそういったご協力となっています。

大森駅はアトレの蒲田駅側の地下に駅ビル用の駐輪場として、今までは 2 段式で約 210 台確保していたのですが、2 段式では上段が使いづらいため 9 月に平置きに代えて 140 台ほどになりました。収容台数は減ったのですが利用効率は向上したと思います。なおかつ、今までは 10 時からでしたが、7 時からに利用時間を変えたところです。

料金設定が最初の 2 時間は無料、その後 2 時間ごとで 100 円です。駅ビル利用者を対象に設定にしたのですが、ピーク時に 9 割ほどの利用率で、一日当たり 350 台前後の利用があります。回転率とすると 2 倍以上、ピーク時で見ますと 8 割から 9 割の利用と聞いています。これ以上料金が上がると、駅ビル利用者が不便になると思います。

会長  
委員

どうもありがとうございました。

駐輪場の対策については、全線にわたりまして各自治体と各駅につきまして協議させていただいています。駐輪場がない駅もありますので、自治体と協議してなるべく早く設置する方向で進めています。

大田区内で一番大きい駅は京急蒲田駅です。こちらの連立事業は大田区の事業として当社駅の連立事業を進めています。その都市計画に基づきまして駅前広場等が整備されます。その中で当然自転車駐車場の整備も入っておりますので、大田区と協議して進めたいと思っています。

駐輪場は駅に近くないとせっかく造っても利用されないケースが多くあります。土地が空いているからと駅間に造ってもあまり効果がないと思います。では、駅のすぐ近くにとすると、駅前広場だとか整備される土地が多くありますので、さすがに 2,600 台分の土地確保は難しいと思いますが、連立事業と協議したいと考えています。

全体的に大きな駅は検討されているわけですが、当社には六郷土手や穴守稲荷など小さい駅にも、意外とお客様からの苦情が多くあります。当社の持つ土地も限られていますが、台数ではなく、小さい駅も合わせてその中でいろいろと検討したいと思っています。

会長  
委員

ほかに何かご意見等おありですか。

私も自転車を毎日愛用しているので、買い物客の心情として 5 分 10

分だからと置きたくなる気持ちを良くわかる立場です。本当に迷惑をかけていることも良くわかっていますが、その辺が難しいところではあります。クリーンキャンペーンを何日間か実施しているようですが、どれくらいの効果があるのかを知りたいと思います。

会長

はじめの「路地にちょっと置いてしまう」という心理面の話もありましたけれども、その点も重要になっています。

どこかの自治体が、商店街と協力して、止めるスペースを軒先にそれぞれの店が用意する取り組みをやっている。あるいは路上駐輪場が通勤客で10時間も止められるのは効率的ではないと、料金を高くしたり、逆に短時間を無料にしたりとか、いろいろなことを各自治体が行っています。

短時間の人が止める場所がない状況はとても問題ではないかと思えますので、ぜひ検討をしていただきたいと思えます。

二つ目の、クリーンキャンペーンの効果はどうでしょうか。

事務局

具体的な数字は出せないのですが、撤去も一生懸命にやります。普段撤去に会わなかった人が撤去にされて「しまった」と思えます。

ティッシュ配りだけではなくて、撤去と連動して、「この区間止めてはいけませんよ」と放送もしています。この期間は止めると撤去されることを意識してもらおうという意味では効果はあると思えます。

会長

今回10月31日終了後にどのような効果があったか、次回ご報告をお願いします。資料説明に時間をかけてしまい、十分にご意見をいただけなかったかもしれません。次回にご意見をいただきたいと思えます。

次に、次回の日程です。次回の日程について諮らせていただきます。継続審議ですので、2か月に1回で予定しておりましたので、皆様のご都合がよろしければ12月16日水曜日午後2時から開催をさせていただきますが、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

会長

ありがとうございます。それでは、場所等については後ほど連絡をさせていただきます。以上で、本日の協議は終了いたします。特になければ、進行を事務局のほうへ戻させていただきます。

都市基盤整備  
部長

本日は、大田区自転車対策につきましてご協議いただきましてありがとうございました。これをもちまして、第2回協議会を閉会いたします。ありがとうございました。